

平成 28 年度 坂小学校区 第1回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市役所地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

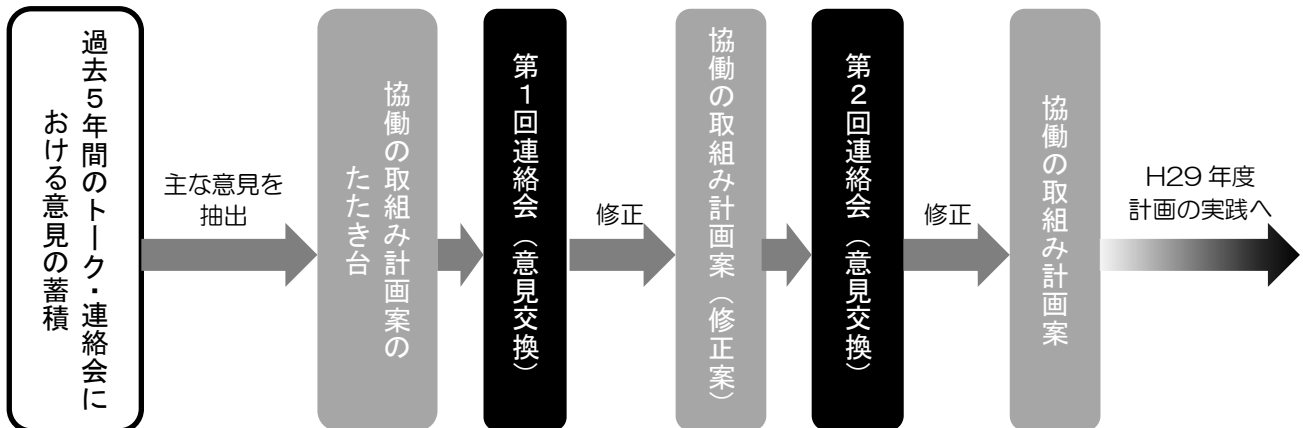
6月30日（木）に開催された「坂小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

| | | | |
|---------------|---|--|---|
| 日時 | 平成 28 年 6 月 30 日（木） 19:00～20:40 | | |
| 会場 | 坂公民館 | | |
| 参加団体 (31名) | 市山新田自治会 三ツ谷自治会 笹原自治会 山中自治会 坂幼稚園 坂幼稚園 PTA | 坂小学校 坂小学校 PTA 錦田中学校 スクールガード 坂小学校支援地域本部 | スポーツ推進委員 体育振興会 消防団第13分団 保健委員会 民生委員・児童委員 |

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

～各団体/より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- ◆消防団第13分団：8/7(日)「普通救命講習」を実施(5年毎)。毎月2回「定例訓練」を実施、水利点検・放水訓練の他、^{しんちゅう}真鍮製の筒先の盗難被害があるので点検実施。
- ◆体育・文化振興会：2/5(日)「坂地区文化祭」開催。年10回程度「トリム教室」を体育館で実施。8/6(土)「盆踊り大会」開催。ぜひ多くの方に参加してもらいたい。
- ◆坂幼稚園 PTA：ペットボトルのふた、牛乳パック、ベルマーク、インクカートリッジを回収中。月～金曜日の8:30～17:00までに幼稚園にご持参ください。
- ◆坂幼稚園：「坂幼稚園 de あそぼう会」(月2回)を開催。園児と一緒に遊びましょう。
- ◆三ツ谷自治会：8/21(日)「防災訓練」公民館で実施、起震車体験できます。お越し下さい。
- ◆坂小 PTA：7/3(日)「廃品回収」を実施、ご協力願います。11月にも実施予定。

意見交換のまとめ

- 第1回連絡会では、2つのグループに分かれて計画案のたたき台に関する意見交換をしました。
- この結果をもとに協働の取組み計画案を修正し、第2回連絡会で皆さんに再びご意見をいただく予定です。

こんな小学校区にしたい

【Aグループ】

●子ども

- ・ 地域に密着した子育てのできる坂
- ・ たくさん子どもで、賑わいのある坂地区
- ・ 子どもの声が常に聞こえる学区
- ・ 子どもが安心して暮らせるまち
- ・ 小学生の多い地区
- ・ 子どもで賑やかな坂地区

●きずな・支え合い

- ・ 全区で支えられる校区にしたい
- ・ すばらしい自然環境の中で、きずなを大切にできる地域
- ・ 皆が集まる坂

●あいさつ

- ・ 声掛け、あいさつができる

【Bグループ】

●子ども

- ・ 子どもの笑い声
- ・ 子どもも大人も、のびのび生き生き
- ・ 地域が支える子どもたち

●その他

- ・ ゆとりのある地区
- ・ 夢と愛があふれるまち坂
- ・ やすらぎのふるさと坂
- ・ 笑顔輝くあたたかいまち

お困りごと・現在の状況

| | A グループ | B グループ |
|----------------|---|--|
| 災害対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時、各自がどんな行動をとるべきか、知らない。学びが必要。 ・スキルを上げる為にどうしたらよいか？ ・以前のように、防災訓練に年寄りや子供も積極的に参加した方がいい。いつ災害があるかわからない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災について真剣に取り組むようになってほしい。 ・避難所情報が十分にいきわたっているか。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・要援護者は、どこにどんな人がいるのか調査したが、しっかり情報の活用ができているのか？(民生委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が小学校に避難するのは難しい。 ・人口や家族構成を知りたい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・となり組内で取組めることを行うにはどうしたらよいか？ ・組内の必要。 ・月1回、組ごとに消火などの防災訓練を実施。(山中町内会) | |
| | | |
| 地域の魅力発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・三島市の公立幼稚園の集まりの会議で、児童クラブなど坂地区の良いところを伝えている。(坂幼稚園) | <ul style="list-style-type: none"> ・空気がよい、野菜がおいしい。 |
| 魅力低下 | | <ul style="list-style-type: none"> ・外来者のマナーが悪くなっている。ゴミが増えた。人が来るとゴミが増える。 ・ごみ、野菜泥棒などにより、魅力が失われてきている。 ・スカイウォーク、フルーツパーク、工業団地ができて人が来ると、魅力が失われる。 ・開発が進むと農業をしにくくなる。 |
| 小学校の良い所 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校はなくてはならない大切な存在。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域が支える小学校。 ・キャリア教育を実施。将来戻ってくる子どもを育てる。 ・小学校、幼稚園、地域連携の授業が多い小学校。 ・体力テスト県内上位。 ・農業体験、英語学習。 |
| 人口減少 | <ul style="list-style-type: none"> ・坂には保育園がない。 ・過疎化対策が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家所有者が他地域に引っ越している。 ・バス等の本数の検討をしてほしい。 |

取組みたいこと

| 地域の特性を踏まえ、災害に備えよう | | |
|-------------------|---|---|
| | A グループ | B グループ |
| 大人の 防災研修会 | <ul style="list-style-type: none"> 被災時の個人の具体的な行動を知らない人が多い。<u>スキルアップが必要</u>。 全員がスキルアップできる機会を設ける。 災害に備えよう、大人の防災研修会。<u>大人が防災について学ぶ研修会を開催する</u>。 地域の特性を踏まえ、けが等の傷の対処法。 | |
| チェック シート | <ul style="list-style-type: none"> 防災のための<u>行動チェックシート</u>の作成・活用。 地域の特性を踏まえた、<u>自分の身は自分で守るための行動チェックシート</u>を作成し、住民に周知する。 | <ul style="list-style-type: none"> チェックシートは<u>高齢者でも誰でもわかりやすく。地区別に</u>。 坂地区の特性を考慮した分かりやすい、チェックシートを作成したい。 |
| 小単位で 取組む | <ul style="list-style-type: none"> 坂全体の訓練は参加しない人が多いが、<u>近所の住人で集まってやれば、参加する</u>。 <u>各組ごと、各家ごとの話し合う場を持つ</u>。 <u>各自治会、組単位の防災の備えが重要</u>。 | <ul style="list-style-type: none"> 校区が広いので、地区ごとの対応が必要。 <u>取組み内容を部落ごとの計画とした方が</u>良い。まずは小規模単位でまとめてから。 |
| 情報把握 | <ul style="list-style-type: none"> 災害に備え、<u>自治会役員、防災委員、民生委員の情報共有を進める</u>。 組内の 80 歳以上の高齢者情報をせめて組長は把握すべき。 高齢者の情報を近隣の人に知ってほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 家族構成を確認 |
| 高齢者の 避難 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の避難方法を確認する。 <u>高齢者の避難方法や避難所での対応を検討しておく</u>。 日中昼間の近所の高齢者の状況を、まずは把握しておく。 | |
| 備蓄の 確認把握 | <ul style="list-style-type: none"> 災害に備えよう、<u>備蓄品の確認</u>。 地区での防災の備えがどの程度あるかを、<u>地区の住人に知らせておきたい</u>。 地域の特徴として孤立する。備蓄を多くする。(山中) | <ul style="list-style-type: none"> <u>備蓄品は役員以外も知っておくべき</u>。 備蓄品の把握をしていきたい。 |
| 中学生の 参加 | | <ul style="list-style-type: none"> Back to 坂小。中学生が参加しやすい防災訓練。メニューも一新! <u>複数回実施</u>することで、参加機会を増やせる。部活の大会や試合と重なるとなかなか地域の行事に参加できないので。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 年寄りでもできる<u>簡単な手順と、消火器具・道具の軽量化</u>が必要。 防災訓練に<u>新しいメニュー</u>を取り入れて参加者を増やす。 | <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園と小学校の<u>合同避難訓練に地域の方にも参加</u>していただく。 |

| 坂小学校区の魅力を発信しよう | | |
|----------------|--|---|
| | A グループ | B グループ |
| PR 情報の発信 | <ul style="list-style-type: none"> 坂幼稚園の良さを校区内外の人たちに知ってもらいたい。 市の広報誌に坂地区の特集記事を掲載してもらいたい。 産婦人科・小児科に、坂地区の PR 情報を置かせてもらう。 坂小学校区の児童数減少を止める為のアイデアをどんどん出したい。ブログ発信などしているようだが、良い事である。 | <ul style="list-style-type: none"> 地道に小学校の良さを宣伝しまくる。 TV 局を呼ぶ。 広報三島などで、特認校制度を再度周知する。 |
| SNS 活用 | <ul style="list-style-type: none"> この地区だけの SNS を作る。若い世代は SNS 利用者が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> みしまめ (Facebook) を見て来てくれた。 |
| イベントへの招待 | <ul style="list-style-type: none"> 農業体験や小学校行事へ、市内幼稚園が参加。→特認校へ誘う。 坂小の良いところを、幼稚園・保育園の多くの方に知ってもらいたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 坂小児童館受け入れ可能。 |
| 農の活用 | | <ul style="list-style-type: none"> 農業住宅構想。 家族で移住体験。空き家を利用したい。→空き家利用にはリフォーム代等がかかる。移住する場所がない。 農産物販売所ができれば、職が増えるのでは？ (雇用を生むチャンス) 子どもたちに農業を職業体験として経験させ、就農者を増やせばいい。 野菜を育てる →売る。小学校で経験させる。 |
| その他 | | <ul style="list-style-type: none"> 自主運行バスの提案 |

| 子育て世代のつながりの場を作ろう | | |
|------------------|---|--|
| | A グループ | B グループ |
| 環境作り | <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代が地元に残る魅力ある環境づくりが必要。 坂児童クラブを活用する。 | <ul style="list-style-type: none"> 誰でも幼稚園に来て良い日を設ける。(おじいちゃん、おばあちゃん、親子) 少人数だからこそ、魅力的な幼稚園を発信。防犯面の問題もあるが、防犯面は地域の方に任せたい。 高齢者の力を活用したい。 |
| 保育 & 教育機関 | <ul style="list-style-type: none"> 下の保育園・幼稚園に行かなくてすむようにできると良い。 幼稚園、保育園、小学校、中学校までの一貫教育はできないか？ 坂幼稚園の子ども園化。 3年保育になると地域に残るかも。 | <ul style="list-style-type: none"> 3年保育、4年保育を希望。 |

意見交換の結果を踏まえた「きずながつくる協働の取組み計画案」の修正の主なポイント

◆こんな小学校区にしたい

- ・「子ども」や「きずな」などの言葉を用いる。
- ・子どもが多くて賑やかなイメージについての意見が多い。

◆お困りごと・現在の状況

- ・観光客の増加などに伴い、魅力が低下していることを追記する。
- ・消防団の課題について追記する。

◆取組みたいこと

<地域の特性を踏まえ、災害に備えよう>

- ・チェックシートは、校区全体ではなく地区別に作成するように修正する。
- ・備蓄品の数量や保管場所を住民に周知する旨を追記する。

<坂小学校区の魅力を発信しよう>

- ・広報として、「産婦人科・小児科に坂小学校区のPR情報を置いてもらう」などの取組みを追記する。

<子育て世代のつながりの場を作ろう>

- ・「誰でも幼稚園に来て良い日を設ける」ことを追記する。
- ・3年保育、4年保育、坂幼稚園の子ども園化についての希望はあるが、地域が取り組む計画としての記述は難しい。小学校や幼稚園との連携が図られている放課後児童クラブの活用を地域としての取組にするのか検討したい。